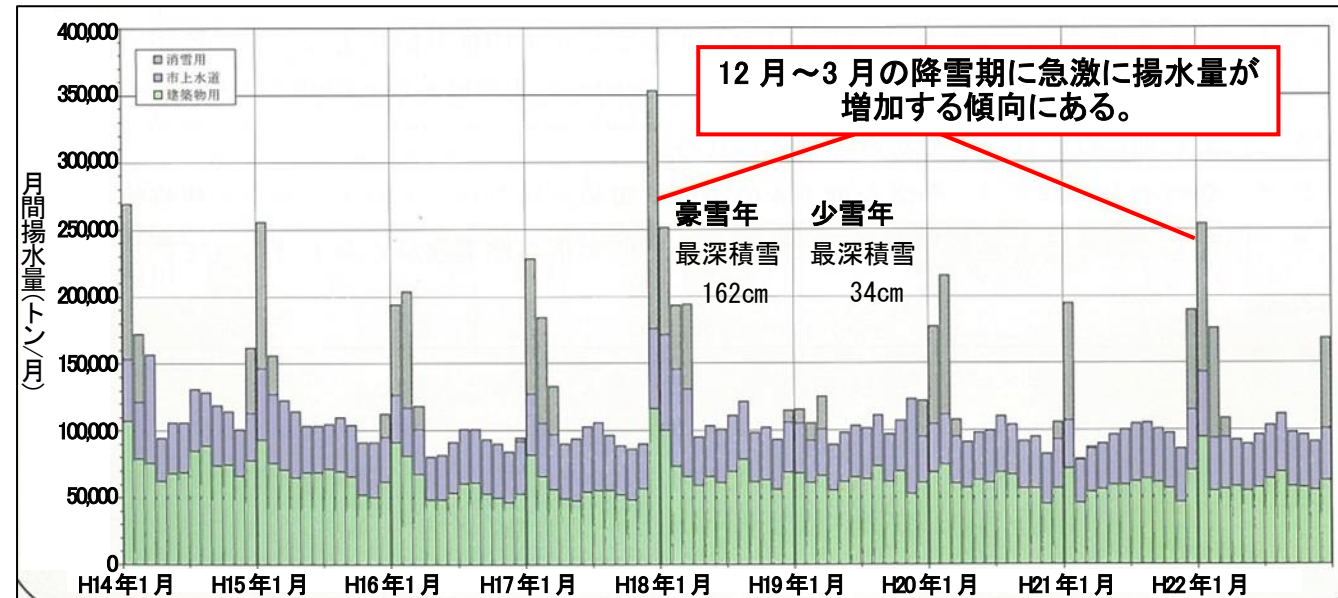


図9 (1) 地下水と降雪

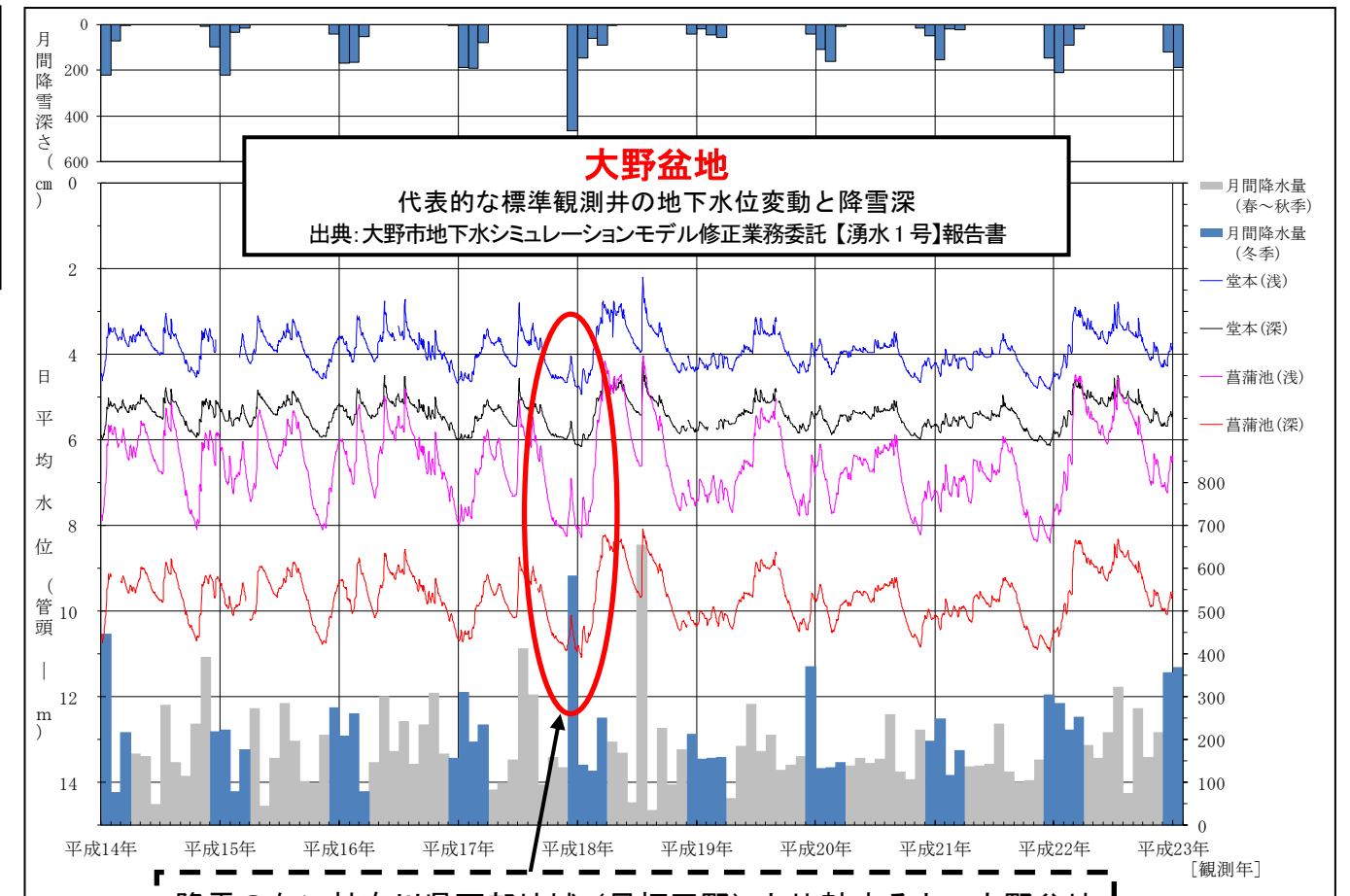
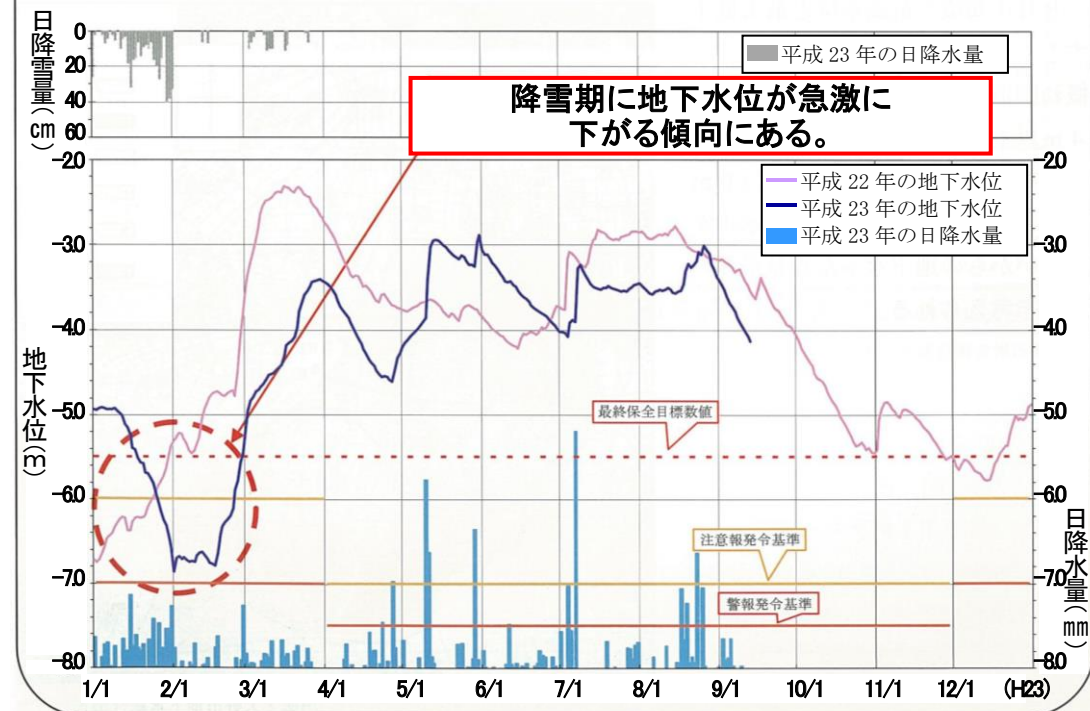
地下水位の年変動は、大野盆地、神奈川県西部地域ともに、夏季に上昇し、冬季に低下する傾向を示す。積雪のない神奈川県西部地域では夏季と冬季の差が数十 cm であるのに対し、大野盆地では 2.0m 近い差がみられる井戸もある。

「越前おおの湧水文化再生計画」によると、『消雪用、上水道、建築物用の揚水量が急激に増加しており、消雪に利用していると考えられる』、『降雪時に地下水が、急激に下がる傾向にある』と記載があり、大野市では冬季における地下水位の低下が懸念事項となっている。

月別揚水量の動向
出典:越前おおの湧水文化再生計画



大野市春日公園観測井における平成 22 年と 23 年 (2010 年と 2011 年) の地下水位の比較
出典:越前おおの湧水文化再生計画



降雪のない神奈川県西部地域（足柄平野）と比較すると、大野盆地では冬季降雪時に地下水位が低下する傾向がみられる。特に積雪深の大きい年には地下水位が大きく低下する。

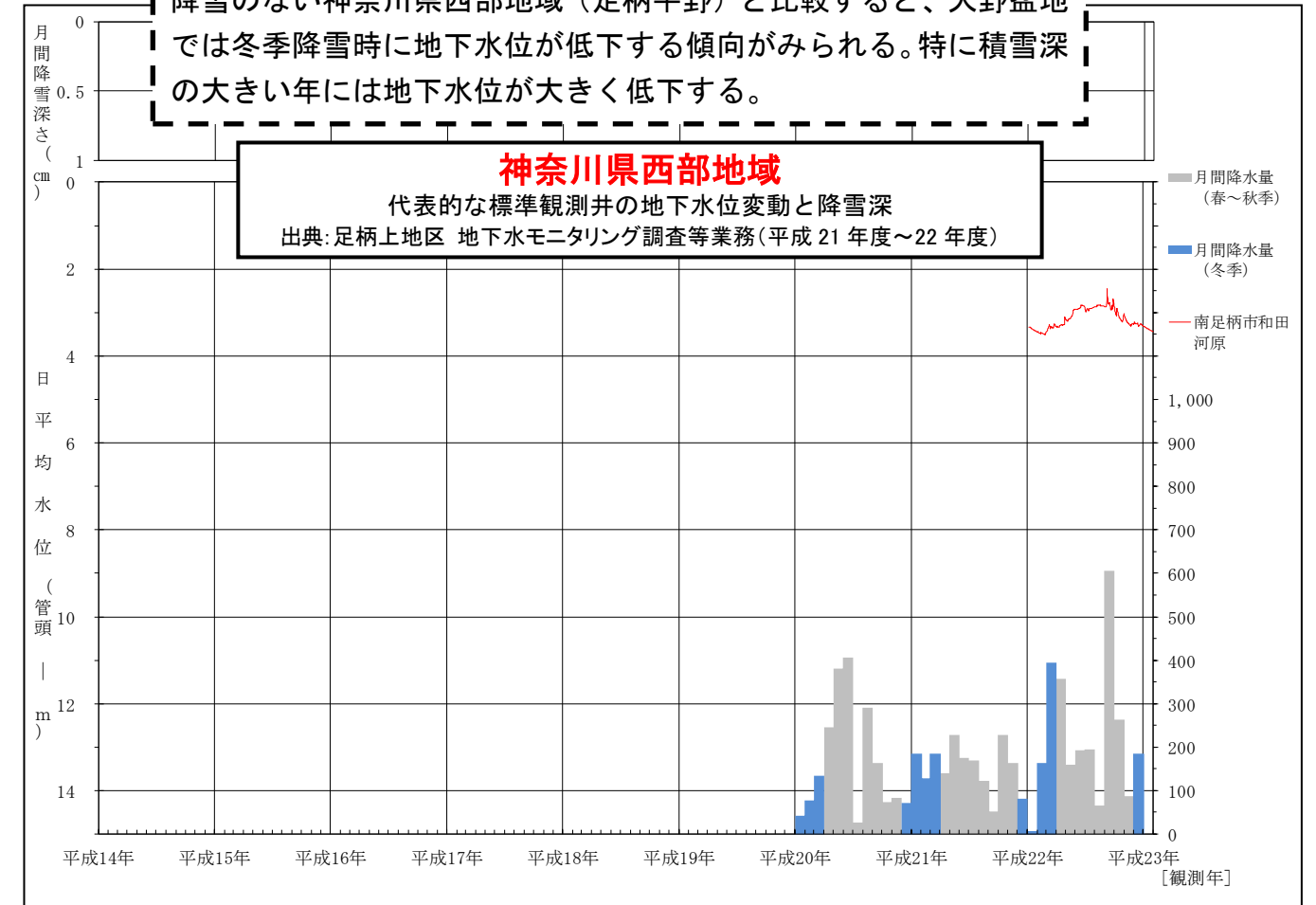


図9 (2) 簡易観測井の地下水位観測情報

観測井の中で、天神町観測井や春日公園観測井などの16カ所の観測井は、大野市が市民にお願いして、毎日手計りで地下水位を計測し、水位を表示板に掲示している。これらの16カ所の観測井を「簡易観測井」と呼ぶ。



凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
観測井位置	大野市地下水シミュレーションモデル修正業務委託【湧水1号】報告書	大野市
簡易観測井	簡易観測井の地下水位観測情報	

凡例
● 簡易観測井

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第758号）」